



2010年度神戸地区のテーマ
「共同体を育てよう」

典礼解説 過越の聖なる三日間*

・第2バチカン公会議『典礼憲章』より

110 ……主の受難と死去の聖金曜日に行われる復活断食は、神聖なものである。それは、いずこにおいても守るべきものであり、また、適当であれば、聖土曜日にも続行すべきである。こうして高められ、開かれた心をもって、主の復活の喜びに至るためである。

・「典礼暦年と典礼暦に関する一般原則」より

- 18 キリストは人間にあがないをもたらし、神に完全な栄光を帰するわざを、とりわけその過越の神秘によって成就され、ご自分の死をもってわたしたちの死を打ち砕き、復活をもってわたしたちにいのちをお与えになった。このため、主の受難と復活からなる過越の聖なる3日間は、全典礼暦年の頂点として輝きを放っている。したがって、一週間の中で主日が占めている最高位を、復活の祭日は典礼暦年の中で占めているわけである。
- 19 主の受難と復活とからなる過越の3日間は、主の晩さんの夕べのミサに始まり、その中心を復活徹夜祭におき、復活の主日の「晩の祈り」で閉じる。
- 20 主の受難の聖金曜日に、また適当であれば聖土曜日にも、復活徹夜祭まで、どこでも過越の聖なる断食が行われる。
- 21 主が復活された聖なる夜にちなんだ復活徹夜祭は、「すべての聖なる徹夜祭の母」とされるが、その夜、教会はキリストの復活を徹夜で待望し、秘跡をもって祝う。したがって、この聖なる徹夜祭の祭儀全体は、夜、行われるものであり、夜に入ってから始まり、主日の明け方の前に終わらなければならない。



*(カトリック中央協議会ホームページから)

4月に入り、典礼で最も重要な「聖なる過ぎ越しの三日間」を迎えます。

我々信徒が十分な心の準備と祈りで聖週間を過ごすために 冒頭に第2バチカン公会議の「典礼憲章」等の典礼関係の公文書を引用しました。

「聖なる過ぎ越しの三日間」は、今年は4月1日の聖木曜日「主の晩餐」、4月2日の聖金曜日の「主の受難」、4月3日の聖土曜日「復活の徹夜祭」の典礼は、いずれも19:00(午後7時)から行われます。いつもより30分早くなっています。ご注意ください。

このところ重要な夜の典礼の礼拝出席者が少なくなっています。色々ご事情もあると思いますが、一年でもっとも重要な典礼週間です。皆様の多数の出席をお願いします。ともに祈りましょう。(議長)

カトリック住吉教会 3 月度評議会議事録

日 時: 2010 年 3 月 14 日(日) 11:00 ~ 14:00

場 所: 第 2 会議室

出席者: 赤波江神父・評議会委員 15 名

はじめの祈り: 議長

本日は下記の議題に沿って検討し承認されました。

議題

1. 聖週間典礼

- ミサ時間が 19:00 に変更。
- 典礼は例年の通り進めてゆく。
- 4/1(木) Fr.シリロ、 4/2 (金) Fr.赤波江、 4/3 (土) Fr.赤波江に決定。
- 3/16 典礼例会で洗足して貰う人の準備、 聖櫃を借りる、十字架の布の準備など決める。
- 3/21 に聖週間の流れ(聖週間についての心構えと参加体制)を理解してもらう為、説明のしおりを配る。
- 3/23 3/28 に練習のための呼びかけをする。
- 3/27 10:00 典礼・レジオで枝の準備をする。
- 4/1 (木) 会議室に仮祭壇を作る。金曜日朝までの役割を決める。
- 4/2 (金) ホールを広げる準備
- 4/3 (土) Sp ミサなし 先唱・朗読・共同祈願・聖歌はスペイン語も対応できるようにする。
- 4/3 洗礼者 男性 1 名 ・初聖体 2 名
- レジオとKさんは火の準備
- 4/4(日) 受付 C 地区 イースターパーティーの準備は D 地区
- 聖体奉仕者と子供達の侍者服も含め祭服の購入を予定。(10 枚)

2. セニョール・デ・ロス・ミラグロスについて

- K氏を通じてC氏から依頼された 10 月 17 日(日)に決定。
- 今年の住吉教会バザーは 10 月 31 日とし、今後は 10 月の最終日曜日とする。(卒園生や父兄関係者が参加しやすいよう期日固定を考慮)またバザー日が中央・六甲・住吉が重ならないこと。

3. 各チーム議題提案から

財務チーム

4 月の小教区総会(信徒総会)と評議会までに会計報告を作成する。

司牧チーム

家庭集会について、従来どおり各地区で順番に開催できるよう考慮する。

営繕チーム

掃除当番の組替えを予定している。班によって人数が足りないのもう少し人を増やしたい。

T副議長

赤波江神父様留守中の役割表を作りお陰さまで皆さんの協力を得ることが出来た。

養成チーム

中高生の来年度の予定表をたてた。

3/22 春名神父様の叙階式と召命の集まりに子供侍者を連れて行く。

6/28に子供侍者会がある。また3/28ミサ後に聖週間のリハーサルを当番に当たっている大人の方と一緒にする。

3/20(土)に後藤神父様と中高生の交わりの夕食会をする。

施設管理チーム

ホール前の軒下の雨漏りとホール中の雨漏りの件で議長とTさんが教区と相談する。

教区に願い状を提出し、四者で打合せたい。

教会学校チーム

3/20に修了式・卒業式がある。卒業生は5名。その他皆勤賞・精勤賞の賞状を準備中。

広報チーム

現在イースター号に取り組んでいる。また赤波江神父様がタイでご活躍されているお写真といい映画のDVDを年2~3回くらい見る機会があればという要望が出ているので考慮していきたい。

Sr.スザンナは4月から教会学校をしばらくお休みする。

典礼チーム

聖週間について。例年通り行う。詳細は上記1.に記載。

社会活動チーム

チリ震災救援募金の金額について。

2/7 3/14 2回実施

これに教会会計からを加えて¥200,000.-を3月15日にカリタスジャパン宛に送金予定。

4. 通夜、葬儀報告 / 今後の体制

*3月7日、N様ご逝去の報があり3月8日通夜、3月9日葬儀を依頼があり、赤波江神父様不在のため、シリロ神父様にご相談した。結果として3/8の通夜は信徒が実施。葬儀はシリロ神父様が実施。(典礼・レジオ、K、Y、Tが出席。)

*冠婚葬祭の今後の対応について。評議会で基本方針を決めている。

- まず信徒から担当司祭に連絡する。次に議長からレジオに連絡。その後典礼・評議会役員に連絡。
- 結婚式は基本的に引き受ける。但し結婚講座を受講修了が条件。通夜・葬儀は原則として住吉在籍の信徒とする。その他信徒については(親戚等)状況に応じ、担当司祭と相談の上決定する。

5. 6月13日東ブロック大会

3/7神戸地区評議会で東ブロック大会が6月13日に決定した。先般2/14に中央教会で東ブロック会議があり、中央教会の副議長に依頼していた計画の説明があり、原案通り承認された。

王子動物園でウォークラリーをした後小さき花の幼稚園で炊き出しがあり、その後ミサに与かる。

六甲は小学生が主体とのこと。住吉は今後役員、教会学校で体制と運営を検討する。

これに青年学生チーム長のUさんも参加・協力する。

6. 神戸地区大会 2011年6月5日予定 場所: 海星女子学院

11年神戸地区大会は東ブロックが担当する。実行委員長は、六甲の議長にお願いする。

本件に関し、4/8(木)に東ブロック三教会役員で打合せ予定。

7. 神戸地区評議会（3月7日（日））報告

- 教区宣教評議会があった。代表性、継続性を有する地区長、地区評議長、副議長が出席した。
- 今年の平和旬間 8/7 8/14 に変更

8. 教区アンケート回答

2/22 に教区から教区宣教評議会をどのように持っていくかのアンケートが来ている。
各委員会から回答を貰いまとめた結果を赤波江神父様の承認後教区に提出する。

9. 宿題

ミサ後のコーヒー等お茶提供の体制・駐車場管理・今後の大祭日のサポート等を検討する。

10. 洗礼・初聖体 おめでとうございます

洗 礼	4月3日(土) 復活徹夜祭	ヨセフ	M さん
初聖体	4月4日(日) 復活祭	聖母マリア	S ちゃん
初聖体	4月4日(日) 復活祭	マリア	Y ちゃん

11. その他

年間スケジュールの基本案作成。(H、T、U 担当)

小教区総会(信徒総会)について

- 小教区の方針決定は評議会で行われ、その主要事項の年次報告が総会で行われる。
- 信徒総会について一番重要なのは信徒の皆様の見解をしっかりと聞き運営に反映させる事である。
- 昨年より小教区総会(信徒総会)を「小教区報告会」とすべく検討している。これは総会時に信徒の出席が少なく、総会の意義が失われるからである。今回の評議会では「小教区報告会」へ変更の決定迄至らず従来通りとする。信徒の多数の出席、協力で意義ある総会を期待する。
- なお、必要な重要事項は4/18の総会前のお知らせのところで報告する。
- 神父様コメント・「大事なことは信徒が多数参加することに意義がある」

教会の大きな年間行事であるパーティーの準備方法の見直しを検討する。(ご意見箱に提案あり)

- 主要行事の担当がいつも同じ地区に重ならないようローテーションを組み協力体制を考える。
(イースター用の玉子も含め、クリスマス・イースター・被昇天・敬老会等。)
- 今後は大祭日のパーティー準備をサポートするにあたり、A～D各地区の一地区が主担当となり、他の三地区から何名かが応援する方式を検討する。食べ物の持寄り等の協力体制等が提案された。

住吉教会の聖体奉仕者の研修会は4月17日(土)9:30～12:00の実施に決定。

- 現在の聖体奉仕者全員の出席が必要。研修終了後、先般神戸地区養成委員会主催の「病者訪問聖体奉仕者養成研修」修了者とともに5月頃、修了証が交付され、同時に「任命書」が交付される。

終わりの祈り：赤波江神父様

以上

* 大祝日の献金につき信徒の皆様の献金のご協力をよろしく申し上げます。

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝

赤波江 豊神父

- * 昨年の今頃、評議会の議長をお引き受けする話が持ち上がり、4月の小教区総会でお世話係を引き受けさせて頂くことになりました。1年間一生懸命に評議会の役員や評議員の皆様と教会の運営について努めてまいりました。その結果は小教区総会(信徒総会)で報告させていただきます。
- * まだまだすべきことが沢山あり、あれもこれもという訳にはいきません。一番大事なことから優先順位をつけて進めていきたいと思えます。教会はだんだん個人的な信仰に向うような時代になってきますが、「人の思いより、神様の思い」に近づくように、皆様と一緒に明るく、楽しい「住吉共同体づくり」に進んでいきたいと思えます。皆様のより一層のご協力をお願いします。1年を省みて。

(議長)